

ウェルフェア イズ ラヴ♡

2025 年 10 月 2 日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ🌟）

先日の読賣新聞にこんな記事が掲載されていました。

[「交通空白」対策に学校・病院・介護施設の送迎車…空いている時間帯に「誰でも乗れる」仕組み支援へ：読売新聞](#)

福祉の現場で働いておられる方々にとっては、もしかしたら「モヤモヤする」、或いは「反感を覚える」取組かもしれないけれど…。当事業所代表個人としては、全面的に賛同出来る取組と感じます。

今は、個別の事業所とか、福祉・介護業界というレベルではなく、日本国全体として人手不足…。そのためか、福祉・介護業界ではとにかく「業務負担の軽減」が叫ばれる。それはとても大切で必要なことだとは思うけれど、「こうなったらそれぞれが、2人分、3人分の業務をこなす覚悟で臨まなければならないね。」という前向きな議論が全く聞こえてこないことに、当事業所代表個人的には、モヤモヤとする思いです。

ようやく福祉業界でも例えば、「高齢者施設の相談員が障害者の相談支援も行えるように。」というような議論が始められているようですが、民間企業や行政機関では、兼務や併任なんて当たり前に行われていることですよね。福祉・介護の現場で実践をされている方々のご意見を頂ければ、嬉しく思います。

💬 スタッフのヒトリゴト 💬

日中はまだまだ暑い日もありますが、ようやく朝夕は涼しくなり、秋めいてきましたね☆暑さに弱く、寒さに強い当事業所代表にとっては、嬉しい季節になりました。芸術の秋にスポーツの秋。今月は障害者芸術祭（次ページ参照）や、身体障害者協会のスポーツ大会等、楽しみな催しも多いので、事業所運営と両立させつつ、楽しめればと思っております。出掛けることが、何よりのリハビリテーションにもなると思うしね☆

あ。「食欲の秋」も忘れずに堪能しなくては！ね♡

♡LOVE のラブラブな実践♡

最近当事業所代表は、『令和6年度 埼玉もうひとつの子どもに関する実態調査 調査結果報告書』を読み進めております。埼玉県での調査結果報告ではあるけれど、フードパントリー利用家庭（ひとり親世帯）の実態がよく解ります。

そしてこの調査は、一般的な子育て世帯と、フードパントリー利用家庭（ひとり親世帯）の調査結果を比較可能な形で提示されているので、ともすれば当事業所代表自身も抱いていた、「大変なのはひとり親世帯に限らないのではないか？」という声に対して、「ひとり親家庭の方が、一般的な子育て世帯と比較して、“より大変”である。」という事実がデータを用いて記されています。

また、当事業所代表も事業所所在地域で実施されている「子ども食堂」に、時々お邪魔させて頂いており、「子ども食堂ネットワーク」にも入会しておりますが、子ども食堂関係の内容としては、世帯年収が400万円未満の世帯よりも、400万円以上の世帯の方が「利用経験あり」の割合が高く、ひとり親世帯よりもその他の世帯の利用率が高いことが報告されていきました。当初の主目的は「困窮家庭の支援」に重きが置かれていたかもしれないけれど、今は、息抜きや交流・外出や社会参加の場としての位置づけも大きくなってきているのでしょね。

県内の福祉イベント案内 他♪

10月13日（月・祝）、14日（火）の2日間、高松市のサンポート高松で、「香川県障害者芸術祭 2025～キラリ☆と光る芸術祭～」が開催されるようです。

13日は、作品展の他にもステージイベントやワークショップ、物品販売等も行われるようです。

当事業所代表にそんな才能はなく🧡作品出品等はしておりませんが、業務の都合が許せば、遊びに行かせて頂きたいなと思っております。

[香川県障害者芸術祭 2025～キラリ☆と光る芸術祭～ | 香川県](#)

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町 1562 番地 伏石ハイツ第1 201 号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

転載や拡散、配布大歓迎！！

来週号も乞うご期待♡